

(この選挙公報は候補者から提出された原稿を写真印刷したものです。)

(両面をご覧ください。)

い い おかやま 生き活き岡山

成果を重視したメリハリのある県政を進めます。

すべての県民が明るい笑顔で暮らす

- 教育県岡山を復活させます。**
 - 規範意識の育成と落ち着いて学べる環境の整備
 - 基礎基本の徹底など学力向上策の推進
 - 少年の非行防止対策の推進
 - グローバルに活躍できる人材の育成
- 産業を振興して、岡山県を元気にします。**
 - 地元企業の稼ぐ力の向上による地域産業の振興
 - 岡山県の強みを生かした企業誘致
 - 安定的な雇用の拡大・確保と県民所得の向上
 - ワークライフバランスや女性の活躍の促進
 - 広域連携やインバウンド拡大など観光の振興
 - 守りと攻めの両面からの農林水産業の振興
- 未来への投資として、次世代の県民を応援します。**
 - 若い世代の結婚から子育てまで切れ目ない支援
 - 子育て世代が安心して働ける環境の整備
 - 若い世代の社会参加や社会貢献の促進
- 子どもから高齢者まで県民誰もが安心して暮らせる地域づくりを進めます。**
 - 医療・福祉サービスの充実
 - 県民の命を守る防災・防犯対策の推進
 - 小さな拠点の形成などによる中山間地域の振興
- 誇りを持って暮らせる岡山県を創ります。**
 - 暮らしやすさを生かした移住・定住策の推進
 - 地域の特性や魅力を生かしたまちづくりの支援
 - 文化とスポーツの振興による地域の活性化
 - 情報発信力の強化による県の認知度向上

岡山をもっと住みやすく元氣な県にしたいという強い思いを持ち、県政を担当して、早くも4年になろうとしています。

私は、これまで民間経営者としての経験を生かし、顧客重視、コスト意識、スピード感を県庁に浸透させ、前例踏襲を是としない組織運営を心がけてまいりました。

県民の皆様にお約束いたしました「生き活き岡山」の実現のために、すべての分野の好循環の元としての教育の再生と産業の振興をはじめ、医療・福祉子育て、防災・中山間地域活性化、環境、文化など、県民生活の充実に向けて全力で県政に取り組む、好循環の流れが加速しはじめていると感じておりますが、目標の実現は道半ばであると考えております。

さらに、これからの岡山は、人口減少問題を克服し

伊原木 隆太



略歴

- 生年月日：1966年(昭和41年)7月29日(50歳)
- 家族構成：奈美(妻)、理紗(16歳)、美紗(8歳)
- 学歴：1982年 岡山大学教育学部附属中学校卒
1985年 岡山県立岡山大安寺高校卒
1990年 東京大学工学部卒
1995年 スタンフォード・ビジネススクール修了MBA
- 経歴：外資系経営コンサルティング会社勤務(1990年～1993年)
(株)天満屋代表取締役社長(1998年～2012年)
岡山県産業教育振興会常任理事(2009年6月～2012年5月)
岡山財務局モニター(2010年9月～2012年4月)
岡山市行財政改革大綱検討委員会委員(2006年8月～2012年7月)
岡山大学経営協議会委員(2011年4月～2012年6月)
岡山県知事(2012年11月～現在)
教育再生実行会議有識者(2015年11月～現在)

いばらぎ 隆太

県民の願いに寄りそう県政へ



植本 かんじ

無所属・
日本共産党推薦

戦争法発動、憲法改悪、社会保障大改悪、TPPなど
安倍政権の暴走ストップ!

今の県政、ここが問題

「福祉の心」がない県政

- ◆子どもの医療費助成…この4年間、拡充なし。鳥取県は18歳まで拡大。
- ◆子どもの貧困率…20年間の増加率は12.3%、大阪に次いで全国ワースト2。
- ◆県民一人当たりの民生費は39位、衛生費は全国41位。(2014年度)。

競争と管理を強める教育

- ◆非正規教員の割合は、全国平均の約2倍、この4年間の増加率は、全国平均の3.5倍にも。
- ◆異常な学力テスト体制…過去の問題の練習や宿題の繰り返しで先生も子どもと触れ合う時間が少なくなる。

中小企業への支援策なし

- ◆人口一人当たりの商工費は鳥取県の3分の1、全国41位。
- ◆住宅リフォーム助成制度…予算の10倍以上の経済波及効果のある制度。この制度に背を向けている。

3つの転換を!

- 1 県独自施策の充実で、県政に「福祉の心」を取り戻す**
 - ◇県の制度として、子どもの医療費は中学校卒業まで無料にします。
 - ◇認可保育所の建設で待機児をゼロに、保育士の処遇を改善します。
 - ◇重度障害者の医療費を無料に、精神障害者も対象にします。
 - ◇介護関係職員の処遇改善、介護の負担を軽減します。
 - 2 一人ひとりの子どもを大切にする教育へ**
 - ◇正規の教職員を増やし、行きとどいた教育で学力向上をめざします。
 - ◇教育予算を増やし、子どもの立場で教育環境を整備します。
 - ◇私学助成を増やし、父母負担を軽減します。
 - ◇給付制の奨学金制度を創設します。
 - ◇高校の遠距離通学への補助制度を創設します。
 - 3 農業・中小企業など、地域に根ざした産業へ**
 - ◇住宅・商店リフォーム助成制度を創設します。
 - ◇下請け取引の正常化、大企業に地域貢献・地元中小企業支援を求めます。
 - ◇小規模事業者に利用しやすい「ものづくり補助金」「事業持続化補助金」などを創設します。
 - ◇原発ゼロ、再生可能エネルギーの拡大で雇用の拡大、地域の活性化を。
 - ◇最低賃金を今すぐ1,000円にします。
- ◇地震・液状化対策、豪雨、土砂崩れ、コンビナート防災などの対策を強化します。
◇JR倉敷駅高架事業はキッパリ中止します。

1959年生まれ。県立岡山高校卒業。下関市立大学卒業。津山民商事務局長、民青同盟岡山県委員長、日本共産党岡山地区委員長、党県書記長などを歴任。2016年参院比例候補として奮闘。現在、民主県政をつくるみんなの会代表委員、党県書記長。家族は妻、一男一女。趣味は読書。

安倍内閣の暴走政治のもと、県民の暮らしはますます厳しくなっています。それだけに、国の悪政の防波堤として、県民の命と暮らしを守る役割を發揮することが強く求められています。しかし、今の県政は、パフォーマンスで目立つ施策はやるものの、県民の願いに答える県政にはなっていません。

私は、県民の命と暮らしを脅かす安倍政権の暴走にハッキリものを言い、平和と福祉、暮らしを守り、安心して住み続けられる岡山県にします。

岡山県知事選挙投票日

平成28年10月23日(日)

投票時間 午前7時から午後8時まで

(ただし、一部の地域で、この時間と異なる場合も
ありますので、入場券でお確かめください。)

平成28年10月23日(日)

岡山県知事選挙

未来へ届け、
私の一票。

投票時間

午前7時から午後8時まで

(ただし、一部の地域で、この時間と異なる場合
もありますので、入場券でお確かめください。)

投票日に予定がある方は、期日前投票ができます。

期日前投票ができる期間

10月7日(金)~10月22日(土)

※投票時間は、午前8時30分から午後8時まで
(期日前投票所によって異なる場合もあります。)

岡山県選挙管理委員会